

プラネタリウム利用案内

プラネタリウムの内容は、職員による星空生解説+プラネタリウム番組です。

プラネタリウム入場時刻【9・10月】※9/22・9/23の3回目は字幕付きの投影となります。

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
9月	平日 9:10 団体専用 ※番組は団体の希望による	10:25 団体優先 宇宙船レオの大冒険	11:40 団体優先 うさぎ月夜のふしぎ旅	13:00 おぼけのマール	14:15 水の惑星	15:30 全編生解説プラネ
	土・日・祝 9:40 おぼけのマール	10:50 宇宙船レオの大冒険	12:00 うさぎ月夜のふしぎ旅	13:15 ほしをつかまえたおうし	14:30 ながれほしのひみつ	15:45 水の惑星
10月	平日 10:15 団体専用 ※番組は団体の希望による	11:30 団体優先 おぼけのマール	12:45 団体優先 ながれほしのひみつ	14:00 ほしをつかまえたおうし	15:15 水の惑星	—
	土・日・祝 10:15 おぼけのマール	11:30 うさぎ月夜のふしぎ旅	12:45 ながれほしのひみつ	14:00 水の惑星	15:15 全編生解説プラネ	—

プラネタリウム番組

おぼけのマールとゆめのとびら

当館オリジナル番組

【おすすめ】
ちいさなお子さまと保護者

30分番組(アニメーションと星のおはなし)

「おぼけのマール」がプラネタリウムにやってきた!

ほしをつかまえたおうし

当館オリジナル番組

【おすすめ】
ちいさなお子さまと保護者

30分番組(アニメーションと星のおはなし)

おうしはほしをつかまえて、なにをおねがいでしょうか。

宇宙船レオの大冒険

NEW!

【おすすめ】
ちいさなお子さまと保護者

30分番組(番組15分・解説15分)

宇宙でいちばん速い宇宙船レオに乗って、宇宙パトロールへ出発!

うさぎ月夜のふしぎ旅

当館オリジナル番組

【おすすめ】
小学校低学年以上

50分番組(番組15分・解説35分)

月にはうさぎが住んでいるの? 一夜のふしぎな旅が始まります。

サイエンジャーとながれほしのひみつ

当館オリジナル番組

【おすすめ】
小学校低学年以上

50分番組(番組15分・解説35分)

流れ星ってどんなもの? 仕組みや見るときのコツを紹介します。

水の惑星-星の旅シリーズ-

50分番組(番組30分・解説20分)

【おすすめ】小学校高学年以上

東南地球から星空を望み、星の世界に水を探る旅がはじまります。

全編生解説プラネ(テーマ:ほうき星)

50分番組(すべて生解説)

【おすすめ】小学生以上

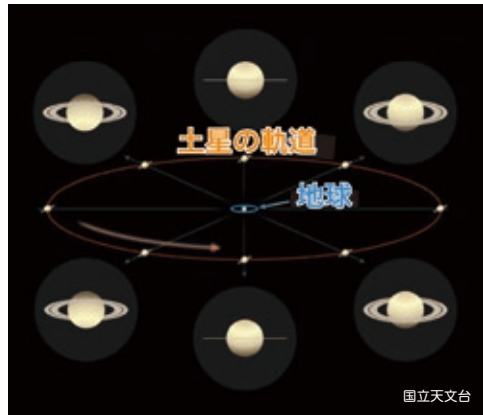
当日の星空と9~10月のテーマ「ほうき星」について、解説員がご紹介します。星空解説をたっぷり聞きたい方におすすめです。

※投影の中止または内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。
※開演の5分前に発券を終了いたします。開演後は入場できません。(各回定員200名)
※1モード付き補助席で、音声を手がかりができません。ご利用の際はチケット売場にてお申し付けください。

旬の話題

土星の環が消える?

土星といえばやはり“環”が頭に浮かぶのではないのでしょうか。その環が来年の春からしばらくの間見えにくくなってしまいます。土星の環は厚みが薄く、約15年ごとに地球から見える環の傾きが小さくなり、ほぼ直線に見えるようになってしまうためです。9月17日の「中秋の名月」前後には月のそばで土星が見えます。今年はお月見にちあみ加え、じっくり“お土見”を楽しんでみては?



観望会のご案内

札幌市天文台

【住所】中島公園内(コンサートホールKitaraと豊平館の間)
【休台日】月曜日、火曜日午後、祝日の翌日
【お問い合わせ】☎011-511-9624(札幌市天文台)

★昼間公開

日程 火曜日 10:00~12:00
水曜日~日曜日 ①10:00~12:00 ②14:00~16:00

観望対象 太陽、昼間に見える星

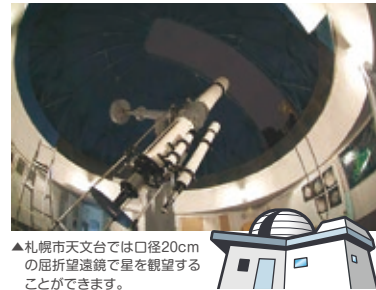
★夜間公開

9月の日程 ①9月6日(金)~9月8日(日)
②9月17日(火)
③9月20日(金)~9月22日(日)
20:00~22:00

観望対象 ①土星・夏から秋の星座
②中秋の名月、土星
③月・土星・夏から秋の星座

10月の日程 ①10月4日(金)~10月6日(日)
②10月18日(金)~10月20日(日)
19:00~21:00

観望対象 ①土星・夏から秋の星座
②月・土星・夏から秋の星座



○今年度より昼・夜ともに事前予約は不要になりましたので、直接札幌市天文台へお越しください。混雑時は順番に中へご案内いたしますので、天文台の外でお待ちいただく場合があります。
○雨天・曇天時は観望は行いませんが、天文台を公開し天文に関する質問対応や解説を行います。※荒天時は質問対応等も中止になる場合があります。

休館日 9/2・9・17・24・25・30、10/7・15・21・28・29

観覧時間 5月~9月 …… 9:00~17:00 (入館は閉館の30分前まで)
10月~4月 …… 9:30~16:30

観覧料	大人	中学生以下
展示室	700円(500円)	無料
プラネタリウム	500円(360円)	無料
セット券	1,000円(860円)	無料

※()は、65歳以上の方、障害者手帳もしくはアプリ「ミライロID」をご提示の方 ※さぽーとさっぽろ会員割引あり ※その他、回数券、年間パスポート等あり

— 科学の今と未来をつなぐ —
札幌市青少年科学館
Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)



〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20
[TEL]011-892-5001 [FAX]011-894-5445 [ホームページ]https://www.ssc.slp.or.jp

お知らせ
展示室・プラネタリウムのオンライン予約を始めました。科学館ホームページからご確認ください。

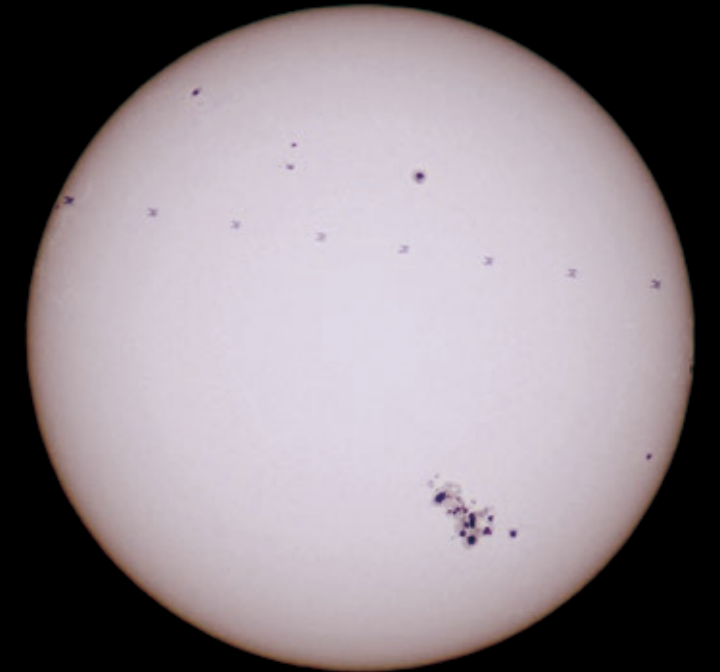


2024年
9・10月号
Vol.112

札幌市青少年科学館天文情報リーフレット

星空散歩

HOSHIZORASAMPO



今回の表紙写真は… 肉眼黒点とCSSの太陽面通過

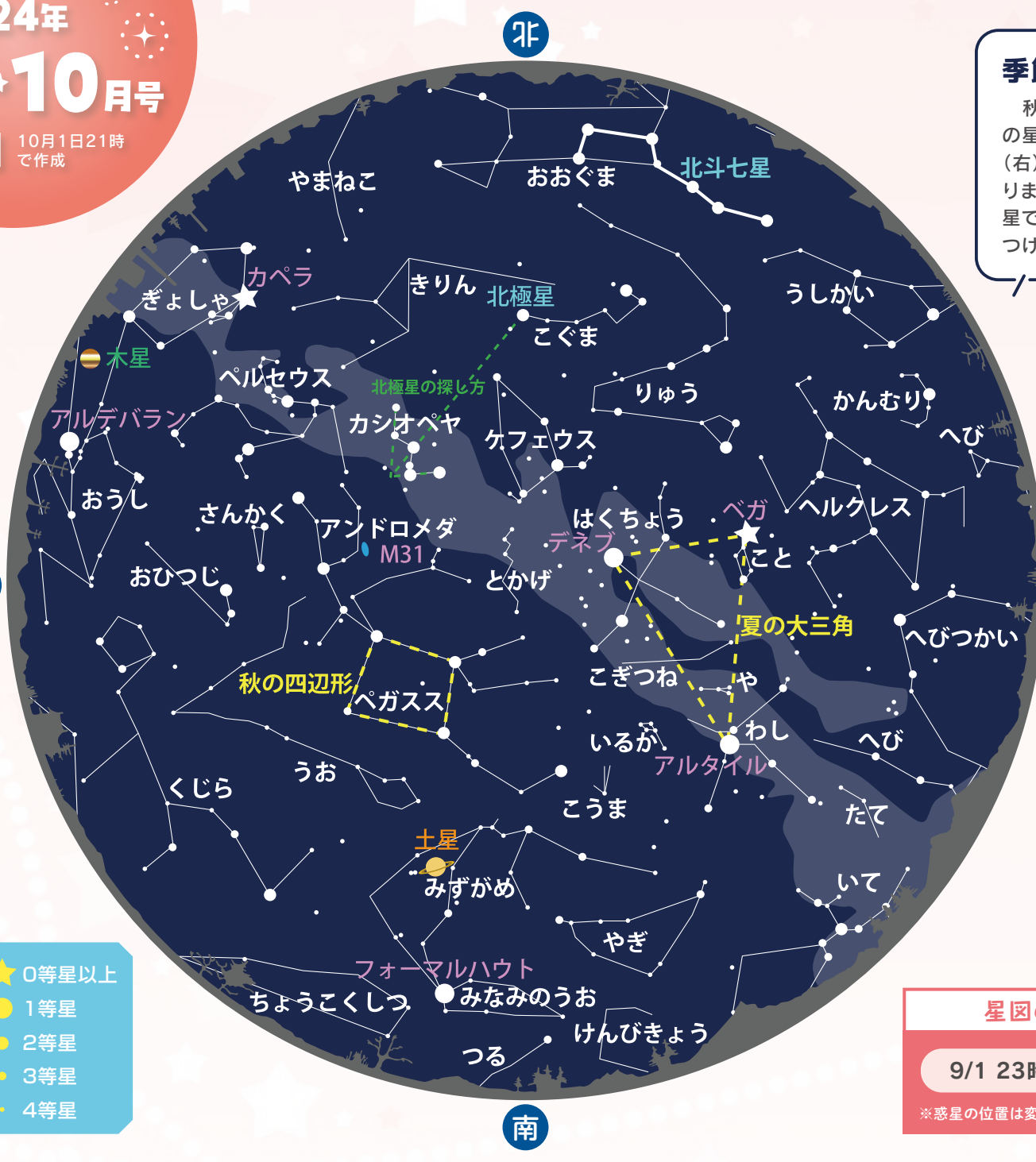
中国宇宙ステーション(CSS)が太陽面を右から左へと通過する様子をとらえました。動画を撮影後、CSSが写っているコマを抽出し比較暗合しています。いまは太陽活動が活発な時期となり太陽黒点も見ものです。

撮影者: 布施 隆久 撮影日: 2024年5月10日11時35分30秒頃 撮影地: 札幌市手稲区
機材等: キヤノン EOS R10、ボヤク76、ケンコー x2 TELEPLUS PRO 300 BAADER AstroSolar Safety Film 5.0 使用、三脚固定撮影。約30フレーム/秒、シャッタースピード1/1000秒

アンケートのお願い

よりよい誌面を作るため、みなさんの声をお聞かせください。





★ 0等星以上
● 1等星
● 2等星
● 3等星
● 4等星

季節の星のたどり方

秋の星探しの目印となるのは「秋の四辺形」。比較的明るい4つの星を結び、形の整った四角を作ってみましょう。秋の四辺形の西(右)の辺を伸ばすと、空低くにフォーマルハウトという星が見つかります。魚の口という意味で、みなみのうお座の口部分に位置する星です。秋の四辺形とフォーマルハウトのあいだに、今年は土星も見つけることができます。

星図の使い方



- ①星図は空にかかげて使います。
- ②空にかかげたら、自分の向いている方角と星図の方角と合わせて星を探しましょう。



星図のように見える時刻

9/1 23時ごろ 10/1 21時ごろ

※惑星の位置は変化するため、10/1の位置を示しています。

月のかたち

- 満月 9/18、10/17
- 下弦 9/25、10/24
- 新月 9/3、10/3
- 上弦 9/11、10/11

旬の話題

中秋の名月

2024年9月17日は「中秋の名月」です。中秋の名月とは、旧暦の8月15日に出る月のことです。旧暦では、1～3月が春、4～6月が夏、7～9月が秋、10～12月が冬にあたり、その秋の真ん中にあたる8月15日は、「中秋(ちゅうしゅう)」と呼ばれていました。旧暦の8月15日頃になると月が特に明るく鮮明に見え、その美しい月のことを「名月(めいげつ)」と呼んでいます。空が澄み渡っていて、月の高さもほどよく眺められる時期なのです。昔から、秋の収穫を喜んで感謝するお祭りの日として、お月見団子のように月にちなんだものや秋の収穫物を食べたり、お供えしたりしていました。月を眺めながら、家族や友達と一緒に過ごす時間も楽しいですね。お月さまは古くから人々に愛され、「中秋の名月」は特別な日として大切にされています。

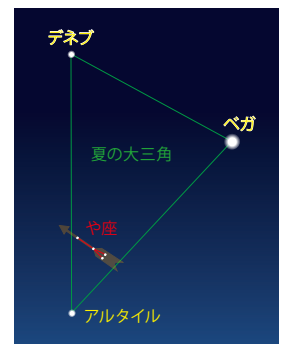


星座のおはなし

や座のおはなし

この矢は、愛の神キューピッドの愛の矢だとする説があります。黄金の矢で射抜かれると恋心を抱き、鉛の矢で射抜かれると憎しみを抱くと言われています。他にも英雄ヘラクレスや、弓の名手アポロンの矢だという説もあります。

偶然にも、や座は七夕伝説の織姫と彦星の間に位置しています。キューピッドが2人の間にいるのではないかと想像してしまいますね。



みつけかた

や座は夏の三角の内側にある、とても小さな星座です。三角形のとがったところの1等星アルタイルから少し三角形の内側に向かって視線を動かしてみましょう。暗い星ばかりですが、特徴的でわかりやすい形をしています。札幌市内から肉眼で矢の形を見つけることは難しいですが、双眼鏡を使うと見つけることができます。また郊外で月明かりのない日だと肉眼でも見つけることができますよ。双眼鏡を使うときは、明るい星でピントを合わせてから観察してみてくださいね。

●9月…南の空20時ごろ ●10月…南西の空20時ごろ